

## 1. ベトナム ホンゴック病院 医師臨床修練

2017年3月に友好協定を結んだベトナムのホンゴック病院より、消化器内科医の内視鏡研修を日本で受けたいとの要望があった。ホンゴック病院とは以前より看護師研修を行ったり、新松戸中央総合病院の松尾院長によるセミナーを開催したりするなど、IMSアカデミーを実施して交流があった。そこで、外国人医師臨床修練制度を活用して、2名の消化器内科医の内視鏡研修を3か月にわたって行うこととなった。

外国人医師臨床修練制度は、日本の医師免許を持っていない外国人医師が研修を目的として実際の診療行為（処方箋の交付を除く）を行うことができる制度で、今回2名の研修生はこの制度を利用して実際の患者様に対して内視鏡検査を行いながら、その手技について学んだ。2名はそれぞれ新松戸中央総合病院、横浜旭中央総合病院にて特別な教育カリキュラムの下で受講し、多くのことを学んだ。修了証授与式ではIMSグループ中村哲也理事長より3か月の研修の修了証が授与された。2名の研修生からは帰国後はベトナムの患者様のために研修で学んだことを活かしていきたいとの意思表示があり、ベトナムの他の医師にも学んだことを伝えていきたいとのことであった。

